



## 第8回地質汚染調査浄化シンポジウム

# 「土壌」汚染調査の問題点と改良点

## — 単元調査法と無単元調査法 —

主 催：NPO 法人 日本地質汚染審査機構

共 催：地質汚染・医療地質・社会地質学会

日本地質学会環境地質部会

国際地質学連合地質環境委員会日本支部

関西地質調査業協会

日 時：2005年4月23日（土）10:00～16:30

場 所：大阪市立大学文化交流センター（大阪駅前第二ビル）

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

Tel 06-6344-5425 / Fax 06-6344-5524

参加費：3000円（主催・共催団体会員）・4000円（非会員）

（資料代含む、当日払い）※参加登録は必要ありません。誰でも参加できます。



土壌汚染対策法が制定され、「土壌」汚染調査は同法による無単元調査法で一元化されました。その結果、無単元調査法による弊害が全国各地で激増しています。この弊害をいかにしたら修正できるか、当 NPO 法人が推奨する単元調査法との比較検討をふまえ、学術的・国家的観点から議論を展開します。

あいさつ NPO 法人 日本地質汚染審査機構理事長 楡井 久

関西地質調査業協会理事長 山岸英之

### 第1部 パネルディスカッション（10:05～11:45 12:45～14:45）

趣旨説明 NPO 法人 日本地質汚染審査機構関西支部 上砂正一（10:05～10:15）

#### 1. 地質汚染とは（10:15～10:45）

— 地質汚染と土壌汚染の違いを明確にするために — GR代表 松山 紀香（地質汚染診断士）

#### 2. 無単元調査法による汚染残土石調査への警告（10:45～11:45）

— 茨城県神栖町有機砒素地質汚染現場からの発信 —

茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター教授 楡井 久（地質汚染診断士）

（昼食 11:45～12:45）

#### 3. なぜ単元調査が必要か（12:45～13:25）

— 問題解決のための調査について — 明治コンサルタント株式会社 上砂正一（地質汚染診断士）

#### 4. 地層・堆積物における調査法（13:25～14:05）

— 特に地質学的視点から — 大阪市立大学理学部地球学科 三田村宗樹

#### 5. 関西での地質汚染事例（14:05～14:45）

— 広がる重金属汚染 — 大阪市立大学大学院経営学研究科 畑 昭郎

### 第2部 総合討論（15:00～16:30）

国民・国土・国家のために、責任論も含めて科学性・中立性を前提として、討論を進めます。

司会：NPO 法人 日本地質汚染審査機構副理事長 藤崎克博